

# 生ごみ (ステーション収集・一部路線収集) **有料**

- 生ごみは、台所から出る「調理くず、食べ残り、残飯」です。
- 右の指定ごみ袋を使用していない物は「警告シール」を貼った上、回収しません。
- 収集日の朝8時30分までにステーションに出してください。
- 生ごみを再利用して、エネルギーにしています。



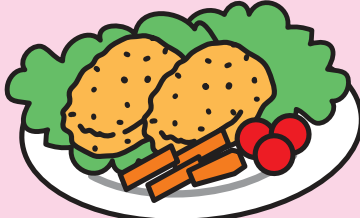
有料指定ごみ袋 (生ごみ用)

袋の種類については2ページをご覧ください。

生ごみは水気をよく切って出してください。



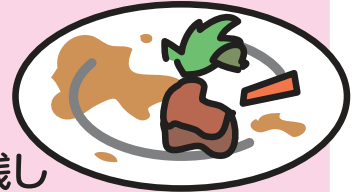
卵の殻



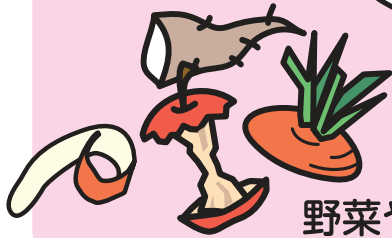
食品残さ (冷凍食品含む)



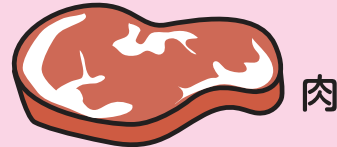
魚の骨



食べ残り



野菜や果物



肉

## 生ごみとして出せない物の例

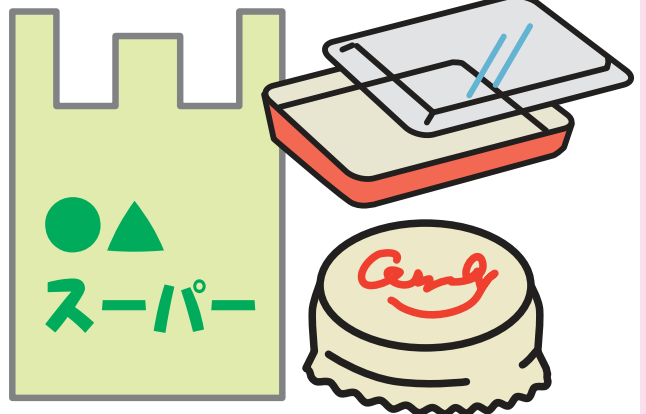
一般ごみとして捨ててください。



- 動物の骨類 ●カニやウニ、エビの殻
- 貝殻 ●落ち葉、剪定枝 ●タバコ
- 野菜や果物のシール ●オブラート
- ペットのふん ●紙おむつ
- くすり類 ●もみから ●乾燥材
- 割り箸、楊枝等

5ページをご覧ください。

資源物として捨ててください。



- ビンなどの王冠 (金属)
- 弁当の容器 (容器包装プラスチック)
- レジ袋 (容器包装プラスチック)
- 牛乳パック (紙飲料紙パック)

11~18ページをご覧ください。

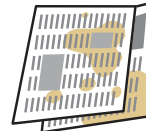
# 生ごみが不足しています

## 生ごみの出し方のポイント

生ごみはできる限り水切りをしてください。(臭いをおさえます)。水切りネットはそのまま生ごみの指定袋に入れて出せますが、水切りネットをポリ袋に入れた後に、生ごみの指定袋に入れることはできません。



台所で使用した紙類や、汚れた紙は、生ごみとして出せます。



揚げ物の油を吸わせた新聞紙

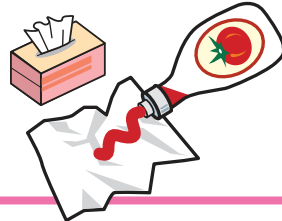


台所掃除に使ったキッチンペーパーなど

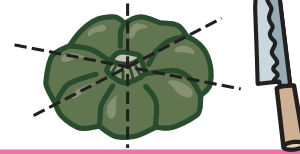
魚の骨など鋭利な物で、袋が破けそうな場合は紙に包んで指定袋に入れてください。



ケチャップなどの水ものは出せませんが、少量であれば、紙に吸わせて捨てることができます。

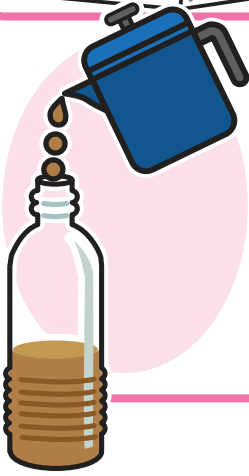


大きなものは10cm以下に切って出してください。10cm角とは両手で包むことができるぐらいの大きさです。

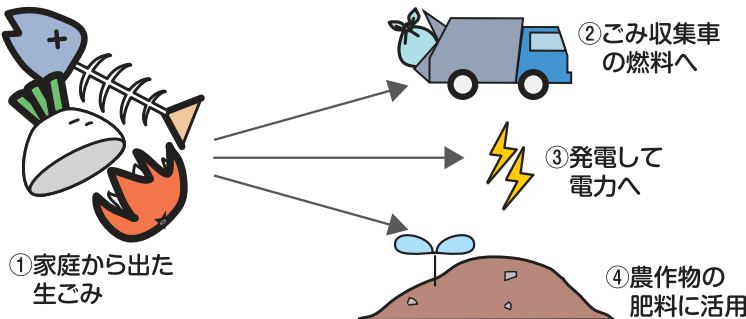


## 廃食用油 (ステーション収集・一部路線収集) **無料**

- 廃食用油は、**無料**で回収します。
- 冷まして、ラベルを貼がしたペットボトルに入れ、キャップを良くしめて、**生ごみと同じ日にステーションに出してください。**
- 揚げかすなどを取り除く必要はありません。
- 油を固める道具、油を吸い取る道具を使用した場合は、一般ごみに入れて捨ててください。



## 生ごみ「エコ」サイクル



皆様のご家庭から排出された生ごみは、バイオガスにしてごみ収集車の燃料や、発電して電気に変えたり、肥料に変えて皆様に再利用されるようにしています。

## バイオエネルギーセンターに生ごみを持ち込む場合

一般ごみや大型ごみとの混載はできません。廃食用油は持ち込みできません。(バイオエネルギーセンターへの持ち込みは10kg25円です。)

**21ページをご覧ください。**